

# 第 19 回議会運営委員会会議記録

開 閉 会 日 時	令和 2 年 11 月 20 日（金曜） 午前 11 時 15 分 開会		
	休 憩 11:25-11:26、12:00-13:30、14:01-14:20、		
	午後 2 時 53 分 閉会		
会議場所	役場 3 階 第 1 委員会室		
出席委員 氏 名	委員長 梶澤 幸治	委員 立川 美穂	
	副委員長 中村 和宏	委員 渡辺洋一郎	
	委員 正村紀美子	委員 常通 直人	
	委員 鈴木 健充		議長 早苗 豊
欠席委員 氏 名			
説明等に 出席した 者の氏名	町長 手島 旭		
	副町長 佐野 寿行		
	総務課長 安田 敦史		
事務局職員	事務局長 仲野 裕司	総務係長 佐藤 史彦	主査 上田 瑞紀

『会議に付した事件と会議結果など』

1 開 会

- ・委員長が開会を告げ、事務局から本日の委員会の日程を説明する。

2 議 件

(1) 調査事項

- |                                   |          |
|-----------------------------------|----------|
| ア 令和 2 年芽室町議会定例会 1 2 月定例会議の運営について | 資料 1     |
| イ 議会だより 1 2 月号について                | 当日資料 2   |
| ウ 議会ホットボイスの取り扱いについて               | 資料 3     |
| エ 文書質問の取り扱いについて                   | 資料 4     |
| オ 令和 2 年度議会報告と町民との意見交換について        | 資料 5     |
| カ 令和 2 年度第 1 回議会モニター会議について        | 資料 6     |
| キ 議会災害時対応基本計画の見直しについて             | 資料 7     |
| ク 芽室高校生徒との意見交換会について               | 当日追加資料 8 |

3 その他

- (1) 次回委員会の開催日程（予定）について
- (2) その他

2 議 件 (1) 調査事項

- |                                   |      |
|-----------------------------------|------|
| ア 令和 2 年芽室町議会定例会 1 2 月定例会議の運営について | 資料 1 |
|-----------------------------------|------|
- ・総務課長：資料1-1説明。
  - ・中村委員：資料1-2説明。

- ・委員長：それぞれ提案予定事項について説明あったが、質疑は。
- ・(質疑なし)
- ・委員長：次に審査方法について。
- ・中村委員：資料1説明。
- ・委員長：質疑あるか。なければ以上で決定する。  
(質疑無し)
- ・委員長：記載のとおり決定したい。

イ 議会だより12月号について

当日資料2

- ・立川委員：資料説明。
- ・委員長：質疑は。  
(質疑無し)
- ・委員長：このまま編集を続ける。

ウ 議会ホットボイスの取り扱いについて

資料3

- ・事務局長：資料説明。
- ・委員長：まず、取り扱い基準に則って取り扱いを協議したい。
- ・常通委員：今回の件、基準に照らしても取り扱わないことにはならない。固有名詞が出ているものでもない。
- ・立川委員：取り扱うべき案件である。
- ・委員長：他に意見なければ、取り扱うこととする。次に、回答の是非について。
- ・立川委員：議会として一定の対応をした経緯もあり、それも含め回答すべき。
- ・委員長：他に意見なければ、回答していくこととする。無記名であり投稿者に直接回答できないが、回答の場としてはどのように回答するか。まずホームページに回答することについてはどうか。  
(異議無し)
- ・委員長：ホームページには回答掲載する。次に議会だよりはどうか。
- ・立川委員：過去同様に、議会だよりにも掲載していく。
- ・常通委員：基準に照らしても分ける必要はないことから、両方に公開で良い。
- ・委員長：他に意見ないようであるので、議会だよりにも掲載していく。次に、回答案を示して、協議をしていきたいが、回答にあたっての意見があれば伺いたい。
- ・正村委員：議会中継を見る限り、「他の委員が」という点、誤解を招くようなことがあったかもしれないが、委員長の発言、その後の議会内の協議もあることから、そのあたりをしっかりと伝えられたらと。
- ・常通委員：後段の「議員の処分」ということは、議会としての対応は無い状況であるので、今の意見のとおりこれまで行ってきたことを説明することで良い。
- ・委員長：意見を参考としながら、正副案を作成し次回議運で提案する。

エ 文書質問の取り扱いについて

資料4

- ・事務局長：資料説明。

- ・委員長：回答期限を決定したいが、過去、2週間で決めてきているが、同様とすると12月3日の17時となるが、いかがか。

(異議無し)

- ・委員長：その回答期限としていきたい。

オ 令和2年度議会報告と町民との意見交換について

資料5

- ・事務局長：資料説明。
- ・委員長：前回のミーティングでは大筋理解を得ていることであるが、その後の正副案としてお示ししているもの。まずは、集まる会議についての期間、場所。
- ・立川委員：この提案で良い。
- ・委員長：他に意見無ければ手法1は記載のとおりとする。次にオンライン会議について。応じることが可能なPTAが対象であること、主催は議会であることとZoomを使っていくことについて。
- ・正村委員：オンラインの応じることが可能ということは、PTAが参加できる人をすべての役員とは限らないが、そのようなことをPTAが選択する、ということが良いのか。
- ・委員長：今後の動きの中で、学校側と共有しながら進めていく必要があるが、対象者含めて決めていかなければならないことであるので、あとで確認したいが。
- ・正村委員：各班リーダーが学校と共有する必要があるので、理解する必要があるのでの質疑である。内容に関することは今後の動きの中で質疑すべきなのか。
- ・委員長：ここではツールと主催の件についての協議である。では、主催は議会であることとZoomを使っていく。次に、対応者について、各班対応で良いか。
- ・立川委員：担当班でということが良い。ただ、小中合同での申し込みがあるなどした場合、1班だけでも対応するのか、合同で対応するのか。
- ・委員長：西小中学校が合同の意向があったが、各学校との協議をしていきたい。オンラインに関しては、班体制を進めたい。次に、分科会の設置については設置しない方向でと考えるが。

(異議無し)

- ・委員長：分科会は設置しない。次に資料は当日説明用の資料を使って説明する。

(異議無し)

- ・委員長：オンラインは事務局がサポートに入ることとする。次に書面による意見聴取について。資料は誰が見ても分かるような内容にしたいが、各委員会で内容を作成していただきたいが。

(異議無し)

- ・委員長：送付資料の内容は各委員会で作成する。次に聴取内容について。できるだけ簡易な内容としていきたいが、これも各委員会で検討いただきたいが。具体的には、総務経済であればコロナ対策であるので、町の支援策について細かな設問のようなものではなく、簡単な応えやすいアンケート項目が良いと考える。いずれにしても両委員会が様式に沿った中での意見聴取になるが。
- ・立川委員：提案通りで良い。項目は委員会で、書式の体裁は事務局で精査を。

- ・委員長：簡単な選択式であるが、設問数も合わせていきたいが。2設問など。  
(異議無し)
- ・委員長：2設問の選択式と自由記載ということで進める。次に対象者については、各PTAに委ねるということであるが。
- ・常通委員：おそらく各PTAも集まる会議と同じメンバーに案内をしてくれるが、あまり広げないように、上限をある程度決めていくなど、リーダーが各PTAと相談する際に、協議してはどうか。
- ・立川委員：逆に各校にお任せで良い。対面で大勢の人と意見を交わすわけではなく、書面で意見をいただくので、多数の方からいただくことでも差し支えないのではないか。これまで会員から意見を聞く機会は少なかったことから制限を設けず、各校にお任せで良い。
- ・委員長：基本的には各PTAにお任せであるが、その後の資料配布、収集の負担などもあることから、PTAに委ねたいが。  
(異議無し)
- ・委員長：意見聴取、収集方法についてはどうか。  
(異議無し)
- ・委員長：提案のとおりとする。
- ・委員長：今後の動きについて、各班が責任をもって進めることとしたい。この勧めで行くが、この委員会の後にリーダー会議を開きたい。

カ 令和2年度第1回議会モニター会議について

資料6

- ・事務局長：資料説明。
- ・委員長：まず確認であるが、集まる会議の延期、来年6月の任期までの中で考えるということ。次に、オンライン環境の調査についてどうか。  
(異議無し)
- ・委員長：オンライン環境調査を実施する。次に、オンライン環境がない方がいた場合の対応について。
- ・中村委員：この点は非常に大事。オンライン環境がある方は良いが、無い方も何かの方法で参加したいというお気持ちの方もいるだろう。このような場を設定していくことが策を練っていくべきである。
- ・委員長：提案の内容で進めていきたいがどうか。  
(異議無し)
- ・委員長：分科会の設置について、少人数でできるだけ多くの方からの意見をいただくということで、分科会を設置することで。
- ・渡辺委員：参加者数にもよるが、分科会設置が発言もしやすく設置する方向で。
- ・委員長：分科会は設置する。次に資料についてですが、すでに予定していた資料をお送りしていることから、再度送らないでその資料を参考としながら進めたい。  
(異議無し)
- ・委員長：以上で協議は終了であるが、意向調査の案をお示ししたい。この案について、事務局から説明を。

- ・事務局長：資料説明。
- ・委員長：この案でどうか。
- ・渡辺委員：問1で②③を選択する人は、問2にたどり着けない。オンライン会議の環境調査であれば、問2が先に来て、その後、問1へ行くような方が良いのでは。
- ・中村委員：集まる会議の開催期間は6月まで余裕がある。絶対に集まる機会である、と言う人もあるであろうから、先に会議の開催方法についてを問としたもの。
- ・委員長：環境調査ということであるが、確かに問1で②③を選んだ人の環境調査にはならない。オンライン会議を行う前提で問いかけるものであるが。
- ・渡辺委員：意向調査を送るときの鑑文は付くのか。
- ・委員長：その鑑文は資料として登録したので見ていただきたい。いかがか。今後の会議の開催のあり方というアプローチであると、先の問1が必要になってくる。オンライン環境調査が前に出ると、先の設問構成ではどうか、ということになる。
- ・渡辺委員：議会としては当面、集まる会議は延期すること、オンラインを行うための環境調査を行うなら、問1を外した方が良いのでは。
- ・委員長：少し休憩を取りたい。
- ・委員長：意向調査の資料を示しているが、まず、オンライン会議を軸に進めていくのか、それとも今後の会議のあり方を聞いていくのか、というところ。前はオンライン会議を前提とした会議であったかと思うが、次回、年明けになるだろうが、行おうとする会議のあり方、集まる会議なのか、オンラインなのか。
- ・立川委員：今回に限らず、今後、オンラインという会議スタイルは議会として準備出来ていた方が良い。今回の意向調査含めて、議会はオンライン会議もできるという体制を進めていくことが必要であるので、オンライン会議を軸に準備を進めるということは、そのまま進めて良い。
- ・鈴木：意向調査の文面をみても「対話機会の確保を模索」とあるが、これが大前提であり、集まる機会がいつできるか分からない中で、今はオンラインを軸にして話を進めたいという案内の仕方が大事ではないか。
- ・常通委員：オンラインの部分については誰も否定していないと思う。そのまま進めていただいて良い。
- ・委員長：今後行われるモニター会議をどのようにしていくかという点は協議してきたことであって、今後1・2か月はできないだろうと。そこで模索しているオンライン会議をとということ。今回、修正後の案内文等でいかがか。
- ・委員長：この案ではどうか。
- ・渡辺委員：この修正後の案内文で議会としての考えが伝わると思う。
- ・委員長：この修正後の案内文で送付する。次に、調査内容について。
- ・立川委員：修正後の調査で良い。意向も伝わる。
- ・委員長：この修正後の調査で送付していくこととしたい。  
(異議無し)
- ・委員長：週明けになるが、送付していきたい。共有されていない部分は、再度、検討をしていきたい。

キ 議会災害時対応基本計画の見直しについて

資料 7

- ・事務局長：資料説明。
- ・委員長：この案で異論なければ決定したいが。  
(異議無し)
- ・委員長：この改訂案で決定したい。

ク 芽室高校生徒との意見交換会について

当日追加資料 8

- ・事務局長：資料説明。
- ・委員長：まず、オンラインによる意見交換を実施するかどうか。全協でも議長からは学校側と協議してということであった。学校からオンライン実施の提案があったことからできれば実施に向けて進めていきたいが。  
(異議無し)
- ・委員長：では、オンライン意見交換を実施することとする。次に、対象生徒が10人程度になるということであるが、議会側の議員の関わり方をどのようにしていくか。
- ・立川委員：議員が多くなるだろうが全議員が参加する方向で良い。
- ・委員長：全議員で参加ということでよいか。  
(異議無し)
- ・委員長：全議員対応とする。次にグループ分けの点について。この実施の内容はこのままとして、グループ分けはこのままで詳細は、各グループ内で相談して進めることで良いのでは。
- ・委員長：その方向で進める。次に時間配分は提案のような形になるかと思うが。今後、担当教諭と相談しながら進めたい。
- ・立川委員：子どもたち、自分の端末を使うということであるが、データの使用量など影響がないのか、差し支えないのか、確認してはどうか。
- ・委員長：重要な点であるので、教諭とも相談していきたい。

### 3 その他

(1) 次回の委員会開催日程について

- ・12月3日(木) 午前9時30分としたい。

(2) その他

①令和3年議会定例会日程について

その他資料 1

- ・事務局長：資料説明。
- ・委員長：令和3年の定例会の日程についてであるが。  
(異議無し)
- ・委員長：この内容で進めていく。

以上をもって委員会を閉会する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	1名	議員	0名	合計	1名
令和2年11月20日								
議会運営委員会委員長 梶澤 幸治								